

第3回 地球温暖化対策特別委員会 議事概要

① 会議概要

- 1 会議名 : 第3回 地球温暖化対策特別委員会
- 2 日時 : 令和6年1月22日(月) 14:00~16:00
- 3 場所 : 飯綱町役場2階 第1会議室
- 4 出席者 : 委員 : 松岡委員、穴山委員、外山委員、中山委員、宮入委員、金澤委員、
廣田委員、青山委員

事務局 : 飯綱町役場住民環境課、同企画課

業務受託者 : 株式会社KRC

- 5 次第 : 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第2回委員会の議事要旨について
第4回審議会の議事要旨について
 - (2) 将来ビジョンと脱炭素シナリオについて
 - (3) 施策と目標について
 - (4) 脱炭素ロードマップについて
 - (5) 計画の推進体制について
 - (6) 地域脱炭素化促進事業について
 - (7) 計画書(目次案)について
- 4 その他
次回委員会開催日程
- 5 閉会

- 6 提示資料 : ・ 次第
 - ・ 第2回地球温暖化対策特別委員会議事概要(案)
 - ・ 第2回地球温暖化対策特別委員会会議録(案)
 - ・ 第4回飯綱町環境審議会議事概要(案)
 - ・ 資料1 将来ビジョンと脱炭素シナリオ(削減目標の設定)
 - ・ 資料2 施策と目標
 - ・ 資料2参考
飯綱町地球温暖化対策実行計画 区域施策編 施策と目標(素案)
 - ・ 資料3 脱炭素ロードマップ
 - ・ 資料4 計画の推進体制
 - ・ 資料5 地域脱炭素化促進事業
 - ・ 資料6 飯綱町地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 目次案

② 議事概要

○：委員意見
→：事務局対応

(1) 第2回委員会および第4回審議会の議事要旨について

資料説明（事務局）

第2回委員会会議録（案）、議事概要（案）

第4回飯綱町環境審議会議事概要（案）

- 第4回審議会について、太陽光発電に関する課題についての発言が目立つが、何らかの解決策等を計画に示す必要があるのか。
→ゼロカーボンを目指すという大きな目標の中で、どうしても太陽光発電などを使っていかなざるをえないが、大規模な発電施設や産業廃棄物が出ることを推奨する計画ではないことを説明し、納得していただいた。

(2) 将来ビジョンと脱炭素シナリオについて

資料説明（事務局）

資料1 将来ビジョンと脱炭素シナリオ（削減目標の設定）

- 将来ビジョンのキャッチフレーズに関して、主語と述語の整理が必要で、もう少し練って考えた方がよい。
→再考する。
- 飯綱町の地域課題（不便になったもの、暮らしにくくなったところ）を捉えて、それに対してどう暮らしやすくしていきたいのか、ゼロカーボンを組み合わせてどのようなかたちで使えるのか、計画の中で具体化できるのではないかと思った。
- 災害に対するレジリエンスの面で、ゼロカーボンがどのように貢献できるかを書き、多くの方に訴求していくとよい。
- イメージを具体化できるイラストや「マンダラ」図を作るとよい。
- CO2削減に対する農地の保温性・田んぼダムなども何か数値で入れられたらよい。
- 木を燃料等として活用するなど、山を活用する生活から離れてしまった。人工林が適齢期をむかえ、皆伐再造林などによる林齢の平準化が必要である。温室効果ガスの削減には木材の利用、その後植林し次世代の木を育てていくという課題がある。
- 飯綱町の木材を使ったモデルハウスのような取組ができるとよい。

(3) 施策と目標について

資料説明（事務局）

資料2 施策と目標

資料2 補足

- 資料2 ページの住宅高气密高断熱化について、2030年目標が100%であるため2050年目標は必要ないのではないか。
→修正する。
- 資料4 ページの2050 信州ゼロカーボンチャレンジは小学生向けの冊子であり、一般向けの信州ゼロカーボンBOOK 県民編のほうがふさわしい。
→信州ゼロカーボンBOOK 県民編の誤りであり、修正する。

○資料5ページの太陽光発電の事業所部分の数値について、資料2参考では公共の値で一致しない。

→数値の見直しを行い、修正する。

○目標について、増加等の曖昧な表現ではなく、極力数値化した方がよい。また、活動指標ではなく成果指標を設定すべきである。

→全ての項目を数値化することは難しいが、アンケートで把握をするなど、極力数値化していく。住宅のZEH化やEV化などは導入量が把握できないため、対応を検討する。

○建築確認や車庫証明等の手続きの際にアンケートを取るなど、少しでも把握できればよい。

(4) 脱炭素ロードマップについて

資料説明 (事務局)

資料3 脱炭素ロードマップ

○資料2～3ページの表で、成果指標になるものがわかるようにするとよい。水素ステーションのような技術革新について、今は読めない部分もあるが、成果指標化はせずとも大事なポイントとして色やトーンを変えてロードマップに書き込むとよい。

(5) 計画の推進体制について

資料説明 (事務局)

資料4 計画の推進体制

○環境審議会で毎年度進捗について確認評価を行うのか。

→基本的にはそのようなかたちで考えているが、詳細は検討する。

○町民・事業者の参画のためにどのようなかたちを考えているのか。

→柔軟に住民や事業者をまき込んだかたちで、計画期間内に進めていける推進体制を検討する。

(6) 地域脱炭素化促進事業について

資料説明 (事務局)

資料5 地域脱炭素化促進事業

○公共施設の屋根への太陽光発電設置について、積雪の影響があるため、地域や角度を選び、DXで太陽光を受ける面が変わる、常に太陽光と90度を維持できるような飯綱町らしさを出せるとよい。

○飯綱町の基幹産業は農業であり、農業振興が多い。サラリーマンは週に2日しか家にいないが農業者は週に7日いるため、ゼロカーボンに貢献する比重が高いのではないかと。農業者に対して、具体的にこうしたことを一緒になって取り組みませんかというような訴え方が必要だと思う。ヤギによる草刈りやもみ殻・藁の活用など、埋もれている先人の知恵を掘り起こす機会として、住民との会話の機会を持つ必要がある。

○促進区域について、参考になっている他の自治体はあるか。

→主に箕輪町を参考にしている。

○温暖化することが避けられないなかで、飯綱町で何かメリットになるものはあるか。適応策としてプラスのものがあるということも書ければよい。

(7) 計画書（目次案）について

資料説明（事務局） 資料6 計画書（目次案）

○温暖化対策はグローバルな問題であるため、グローバルの中の飯綱町というものが意識できるような書き方になるとよい。

○県内の他の行政自治体など、この地域と他の地域を対比できるものがあると飯綱町らしい計画になる。地域性を踏まえ、飯綱町がどのようなところに位置付けられ、より一層の努力が必要なのか、相対的な関係がわかるとよい。

(6) その他

・第4、5回委員会の日程調整

→第4回委員会：3月4日（月）飯綱町民会館

第5回委員会：3月21日（木）飯綱町民会館

→第4回委員会での計画案決定に向け、できるだけ早く資料をメールで送付し、事前にご意見をいただく。